

## 指導事例6

1 主題名 充実した生き方

2 資料名 ピアノとともに

3 ねらい 郷土の先人の生き方との感動的な出会いを広げることで充実した生き方について自覚を深め、自分自身のよさや個性を見い出していく態度を養う。

(1-5) 向上心、個性の尊重、充実した生き方)

### 4 主題について

#### (1) 価値について

個性を生かし伸ばしていくことは、人間の生涯をかけての課題である。充実した生き方は、自分の人生への前向きな取り組みを繰り返す中で自然に体得される。そのためにも、先人の生き方に学ぶことは、現在の自分、そして将来こうありたいという自分を静かに見つめ直し、自己の向上を願って生きていく上で重要なことである。

#### (2) 生徒の実態

中学生の時期は、自己理解が深まり、自分なりの在り方や生き方についての関心が高まってくる。「よりよく生きたい」という願いを持ち始めた中学生に、先人の感動的な生き方を学ばせ、個性を伸ばして充実した生き方を考えさせることは意義深いことである。

#### (3) 資料について

ピアノを生涯の友として、忍耐・努力によって優れた技術を修めた鹿児島県音楽界の重鎮故武田恵喜秀氏の話である。本資料には、理想を追求し、生涯を通して演奏活動を続けてきた強い意志とその態度が表現されている。演奏活動について語られている話の中に、「自己表現」への夢や理想が多く含まれていて、生徒には読み取りやすく共感を得られる内容である。

また、指導に当たっては、音楽を通して郷土の発展のために尽力した人物としての観点からも指導していきたい。

### 5 板書例

<p>◎ 自己を生かし充実した生き方をするには・・・</p> <p>※自分のもつ個性を大切に、前向きに生きる。 ※いつまでも、好奇心や探求心を大切にする。</p>	<p>◎ 演奏活動に大切なもの</p> <p>ピアノを弾いている武田さんの写真や絵</p> <p>◇集中力と精神力 ◇失敗を次にどう生かすか ◇自分の個性を磨くこと ◇好奇心や探求心</p>	<p>◎ 十六歳で鹿児島市へ</p> <p>ピアノとの出会い(心の支え) 自己実現の努力 *夢をもつこと*</p>	<p>武田さんの写真</p> <p>ある演奏会で出会った八十八歳のピアニスト</p> <p>すばらしい音色・すみきった音 若々しい演奏態度に感動</p>	<p>「ピアノとともに」</p> <p>◇音楽好きな「わたし」</p>
---	---	---	--	-------------------------------------

## 6 展開例

過程	主な学習活動（・生徒の意識）	指導上の留意点
導 入	1 ピアノ曲「エリーゼのために」を聴く。 (CD)	○ 曲を聴かせることにより、意欲を高めさせる。
展 開	2 資料「ピアノとともに」を読んで話し合う。 (1) わたしは、なぜこのピアニストに心をひかれたのだろう。 ・ 88歳のピアニスト ・ やさしそうなひとみ ・ 温かく、すみきった美しい音色  (2) どんな演奏態度だったのか。 ・ 楽しそうに生き生きした態度 ・ 年齢を感じさせない ・ すみ切った美しい音色  (3) 武田さんは、どんな人生を送ったのだろう。 ・ ふるさと沖永良部島 ・ ピアノとの出会いと努力、心の支え ・ 50年にわたる演奏活動 ・ 夢をもち努力を続けた人生 ・ 失敗を前向きに生かす人生 ・ 人前での演奏…精神力・集中力 ・ 人のよいところ、輝いているところへの気付き  3 本時を振り返り、自己を生かし充実した生き方をするためにはどんなことが大切かを考える。 ・ 自分のもつ個性を大切に、前向きに生きていくようにしたい。 ・ 自分も、いつまでも好奇心や探求心を失わずに生きていきたい。	○ 読みながら心を引かれたところに線を引かせる。  ○ 曲を聴いて感じたことを自由に発表させる。 （特に演奏者の思いを想像させることに重点をおくようにする。）  ○ 多くの人々に感動を与えた音色や演奏態度に注目させて武田さんの魅力に迫らせる。  ○ 武田さんの演奏活動を支えた郷土愛にも気付かせる。  ○ 演奏活動を通して得られた武田さんの「境地」は、人生を切り拓く「自己実現の道」そのものであることに気付かせる。  ○ 武田さんの語っている内容や音楽に取り組む姿勢から感じ取れることをまとめさせる。  ○ これまでの自分を振り返らせ、充実した生き方をするためには、自分のよさを生かし、目標を持って努力することが大切であることに気付かせる。
終 末	4 教師の説話を聞く。	○ 人としての生き方に迫るような説話になるように工夫する。 ○ 自分のよいところや輝いているところに気付き、伸ばしていくことの大切さを伝える。